

平成27年 第11回

小林市教育委員会

定例会

会 議 録

平成27年9月29日 (火)

平成27年 第11回教育委員会定例会 会議録

- 1 日時 平成27年9月29日(火) 午後3時00分～
 - 2 場所 小林中央公民館 2階 集会室
 - 3 出席委員 大部菌智子 山中悦郎 大角安子 中屋敷史生
 - 4 参与職員 山下康代 脇村一也 河野康男
(調整職員) 野口健史
 - 5 説明職員
 - 6 会議内容
- 開会 14:55

大部菌職務代理者 本日は、岩崎委員長が所用で欠席ですので、小林市教育委員会会議規則第3条第1項、「委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、職務代理者がその職務を行う。」の規定により、私の方で本日の委員会を進めさせていただきます。よろしく申し上げます。

それでは、開会を宣言いたします。

平成27年9月16日付教育委員会告示第21号で招集いたしました平成27年第11回小林市教育委員会定例会、本日の出席委員は4名です。

ただいまから会議を開きます。

本日の会議は、告示並びにお手元に配付の会議次第のとおりであります。

それでは、会議次第5. 議事に入ります。

報告第12号平成27年第4回小林市議会定例会(9月議会)について、お願いいたします。

山下部長 それでは、報告第12号平成27年第4回小林市議会定例会(9月議会)について報告いたします。

9月議会については、8月28日開会で、9月25日に閉会いたしました。

今回の議会では、教育委員会に関して、平成26年度の一般会計歳入歳出決算の認定、それから平成26年度西諸地区いじめ問題対策の歳入歳出の決算の認定、それから27年度一般会計の補正予算、保健体育課が1件あります。それから工事請負契約の締結ということで、南小学校の南校舎の改築主体工事本契約というのが議案の主なものになります。

一般質問については、9人中6人の質問がありました。4ページ目からが一般質問の内容になります。概要について報告したいと思います。

まず、下沖議員ですが、「子育て支援について」ということで、市長の考えについて質問がありました。

雨天時、梅雨の時期に屋内の遊び場がないので、何かできないかという質疑内容でした。

私からは、地区体育館とか、公民館とかの施設については、空いていれば使うことはできるんですけども、雨の日に限ってとなると、事前予約をすることがなかなか難しいのではないかとお答えしてあります。

それから、自治公民館等のこともおっしゃったのですが、これにつきましては、協働のまちづくりを今、市が進めておりますけれども、その取り組みとしてやっていただければ実現性があるのではないかとということでお答えしました。

また、遊び場ではないのですけれども、親子で絵本に親しんでもらうために図書館の利用はいかがでしょうか、ということをご提案しております。それから、遊具レンタルのことを言われたんですが、巡回できるような遊具は準備しておりませんので、整備については価格等も調査をしなければならないというふうに思っております。

また、第2子以降の保育園・幼稚園の無料化はできないかという質問がありました。これについては、野尻幼稚園において、試算した内容をお答えしております。今30名の園児がいるのですが、第2子、第3子に該当する子で計算して、全て補助、無料にした場合に必要となる金額等についてお答えしております。

福本議員が少子化対策についてということで、まず給食センターでの地産地消の宣言をすることは大事だと思うのですが、どうですかという質問で、教育長が、給食センターでの地産地消の取り組みは様々な工夫をしております。例として6年前から取り組んでいる西諸っ子ごはんという炊き込み御飯を紹介しました。それから、西諸県地区の教育研究会で、栄養教諭と学校栄養職員部会のほうで、チョウザメを使った料理を今回開発したのですけれども、その紹介をしております。

森田議員からは、小・中学校の校舎改築について質問がありました。少子化によって児童生徒が減少することが予想されますが、今後の校舎改築の考え方を聞かせくださいということで、教育長から、市内の学校は、耐震基準は満たしているけれども、校舎にとどまらず、体育館、プールなども老朽化が進んでおり、喫緊の課題であると答えております。

次の段階としたら、こういった老朽化対策、災害時等の避難所機能の充実、また長寿命化に係る大規模改造の観点から、地域の実情も踏まえた上で総合的に判断して、国の整備事業補助等を財源として有効に活用していけるよう計画を策定していきたいというふうに答えております。

それから、直近の南小学校の改築費用についてということで、私が、昨年度実施した1期工事の北校舎の実績を説明いたしました。

また、小学校と中学校が合体した小・中一体型の校舎にする。あるいは、地域の実情に応じた他の公共施設との複合化も考えられるが、教育長の考えをお聞かせくださいという質問がありました。

小・中一貫を行う施設の一体型の校舎については、今後財政的支援の観点から国の公立学校整備補助制度の拡充が期待されておりますが、既に施設連携型の小・中一貫教育に取り組んでおりますので、今後の施設整備の検討の一つには含まれるのではないかというような答弁をしております。それから、他の公共施設との複合化についても、幼・保・小の連携とか、日南の北郷学園の連携の例とか、放課後の子育て支援の拡充、また地域の福祉施設、公民館との併設など、全国に例がいろいろありますので、今後の市の全体構想の中で参考にしながら検討していきたいというふうに答えております。

それから、長寿命化ということで市営住宅の長寿命化計画が実施されているのですが、学校版ということでは考えられませんかという質問だったんですけれども、各地方公共団体には公共施設等総合管理計画の策定が求められておまして、その中で、各教育委員会には、個別施設ごとの長寿命化計画を平成32年ごろまでに策定するように求められています。今後の整備計画を策定していく際の検討に必要な要素の一つとして、長寿命化のことも市全体のまちづくり計画との関連を絡めながら検討していきたいと

いうふうに答えております。

それから、蔵本議員になりますが、プレミアム商品券と子育て支援商品券のことについて、市長が答えられております。8月14日現在、換金率が51%、2億5,000万円の商品券が、使われておりますということを答えております。

一般質問の、その後の対応について、これまで質問されたことについての対応状況についてありました。公共施設の充実について、投書箱を置いて欲しいというのが、平成26年9月議会であったのですけれども、これについては私から、各地区体育館や運動公園などの施設15カ所に、その質問があった後に、すぐアンケート箱を設置しております。定期的に回収をいたしまして、その都度対応してまいりました。市民体育館につきましては、窓口がすぐそこにありましたので、アンケート箱は必要ないだろうということで設置しなかったのですけれども、直接言ったりすることができない方のために、今回新たにアンケート箱を体育館にも置きました。それから、中央公民館には置いてあります。文化会館につきましても、いろいろなイベントごとにアンケートを実施していましたので、実際アンケート箱は置いていなかったのですけれども、市民体育館と同じように、直接言えない方たちのためにアンケート箱を文化会館にも今回設置をいたしました。それから、子どもの貧困対策ということで過去6回取り上げて、今回7回目の子どもの貧困対策ということに質問がありました。これについては、全て市長が答えられたのですけれども、今回、給食費の無料化ということで、言われました。

幸い、ふるさと納税の応募が順調に推移していることから、未来まち創生基金ということで、これを財源として活用できないか、というふうに思っております。軽減率については、今後の財源の配分、これで考えていきたいと思いますが、できれば、最初に給食費の減免から、子育て支援としてやっていきたいということを、今回、市長が明言されましたので、今後の検討課題になっていくと思っております。

これが地方創生の中で実施されるのか、詳しくは、これからですけれども、いずれにせよ、給食費については今後検討されることになると思います。

時任議員です。前回の6月議会でありました給食センターのスプーンの取り替えや、配送車用の段差解消工事のことについて質問が再度ありましたので、教育長から全て答えております。

それから、給食センターの建設費のことについても、再度また、お尋ねがありましたので、保健体育課長が答えております。

次が議案質疑になります。福本議員から、特別支援教育の事業費について、現在の状況と問題点、今後の進め方ということで、私がお答えしました。

それから、社会教育課で、文化財の保存活用事業費の中で、案内板・説明板の未設置個所は幾つかという問いに、課長が13カ所あると答えています。

大浦議員のほうから、自治公民館助成事業費についてのアンケートをしたが、その結果はということで、25年9月に実施しましたアンケートの結果を答弁しております。

次が、総務文教委員会の学校教育課の分になります。それぞれ細かくいろいろ聞かれましたので、資料のとおり答えております。

教育長から、全国学力学習状況調査結果の概要の公表ということで、前回の定例会でお諮りし、合意を頂いた内容を総務文教委員会の委員に説明をいたしました。そこで、2人の議員から質問がありました。

1人目は、学力テストには問題点がある。議会としては、説明責任や公表については、要求していないということでは言われました。

教育長から、議会答弁は会議録としてインターネット上で誰でも閲覧が可能であり、これまでも、学力はどうかといった質疑に対して、客観的な状況として、全体的な傾向についてこの結果を引用し、説明することがある。

その一方で、一般には結果を公表しないとしている状況に矛盾が生じているため、概要について公表したほうが良いということになった経緯があり、市民や学校から公表の要求があったわけではありません、と答えております。

それから、概要であっても公表することで、より詳しい内容の要求が出されるなどエスカレートしていくのではないか、その危険性について教育委員会で協議したのかという質問をされました。

教育長から、教育委員会において丁寧に協議を行い、全員の合意で決議しましたということを答えております。

それから、別の議員からは公表することは問題である。公表することで関心が高まるとの発言がありましたが、意見として伺いましたので、答弁はしておりません。

次のページからは、社会教育課、保健体育課、須木分室、野尻分室の順で総務文教委員会での答弁内容になります。

報告については以上です。

大部 菌職務代理者 ありがとうございます。

ただいま報告が終わりました。何か質問はございますか。

中屋敷教育長 よろしいですか。補足をしておきますが、先ほどの全国学力学習状況調査の結果の公表の件なのですけれども、議員から反対があったのですけれども、教育委員会として決議した内容でありますので、公表という形で進めてまいりたいと思っております。

総務文教委員会のやり取りの中で気になったのが、現場ではテストを実施することによって弊害が生じているという発言がありましたので、私の中ではそういう話は全然聞いていないし、報告もないので、9月の校長会の時に、実態をきちんと調べて、10月に予定されている各学校長の間ミーティングのときに各学校の実態を報告するというようにしてあります。それぞれの学校の状況が10月に判りますので、また定例教育委員会で報告をさせていただきたいと思えます。

それから、青年会議所が地域活性化を探るということで意見交換をした新聞記事について私は非常にショックを受け、私だけじゃないと思えますけれども、教育委員会の職員もちよつとショックを受けています。

班別にいろいろ協議して発表した時の記事ですけれども、課題として「情報発信力が弱く、宿泊先が少ない」という記述のほか、「教育水準が低く、中学進学の時点で西諸地域を離れてしまう」ということが記事として出ていました。この前の全国学力調査の結果も報告させてもらいましたが、決して低くはなくて、中学校は全国平均よりも上の方をいっているし、小学校もどんどんそれが縮まってきているので、どちらかという教育水準は

高いというふうに事務局としては思っております。ところが、こういうふうに思っている方々が、若い方たちの集まりの中で出てくるということが非常にショックで、こういうものを刷り込みじゃないですけども、ステレオタイプのこういうものだという偏見みたいなものは打ち消さなきゃいけないと思うんですね。そのためにも、概要を発表したほうが、こういう誤解を払拭できるのではないかなと思っております。今後は、教育委員会としては、やっぱりみんな頑張っ、教育はいい水準になってきているということは市民が理解すべきではないかなということで、概要を公表することに決まったと思っております。以上、補足です。

大部 菌職務代理者 いいですか、私から。

私もこの新聞記事を朝に見たときに、ちょっとショックを受けたというか、こういうふうに記事になってしまうと、多くの子どもたちが中学進学で宮崎の方に行くようにとられるので、この書き方はちょっと残念だなと思ったところです。実情をやっぱり市民に知られていないので、客観的なデータではなく自分の考えだけで言われたのが、この記事かなと思ったのですが、その意味では、やっぱり教育長がおっしゃったように、概要だけでも今の小林市の子どもたちの状況を公表した方がいいと私も思います。

これは、えびの市、小林市、高原町の西諸地域のことを指しているので、だから、えびの市の教育にしろ、高原町の教育にしろ、同じように見られたということで、ほかの市町さんも多分残念なことと思っていらっしゃると思うんですけども。

中屋敷教育長 影響が大きいですよ、こういうふうにかかれると。

大部 菌職務代理者 そうですね。

大角委員 全く同じ意見で、読んだ子育て中の親がどう思ったのかなということを考えると、やっぱりショックを受けますね。さもそうであるかのような発言に対しては、疑問を感じます。

大部 菌職務代理者 ほか、ございませつか。

中屋敷教育長 こういうものを払拭するために、やっぱり「0歳から100歳までの小林教育プラン」というのは、繰り返し、言い続けながら、やっぱり、全ての世代が学び続ける小林市を実現していくことが活性化に繋がっていくんだ

ということを、学校教育でも社会教育でも伝えていきたいなと思っています。

大部 菌職務代理人 そうですね。よろしくお願ひします。

ほか、ありますか。

いいですか。(なし)

大部 菌職務代理人 それでは、報告を終わり、議案に入ります。

議案第56号小林市指定管理者選定委員会委員の選定について、を上程いたします。事務局の説明をお願いいたします。

脇村課長 それでは、35ページでございます。

議案第56号小林市指定管理者選定委員会委員の選定について提案をさせていただきます。

今年度末、3月31日で市立図書館、それから市営プールの指定管理者の契約が満了となります。このため、新たな指定管理者を決定するに当たりまして、指定管理者選定委員会委員の選定について教育委員会の同意を求めたものであります。委員名簿は36ページ、37ページについてございます。以上です。よろしくお願ひします。

大部 菌職務代理人 はい、ありがとうございました。

説明が終わりました。これより質疑をお受けします。何かありませんでしょうか。

大部 菌職務代理人 何かお聞きになりたいことはございますか。ないですか。(なし)

質疑がないようですので、採択してよろしいでしょうか。(はい)

それでは、採択いたします。

議案第56号小林市指定管理者選定委員会委員の選定については、原案のとおり採択することでご異議ありませんか。(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって、議案第56号は承認されました。

大部 菌職務代理人 次にまいります。

次は、会議次第7. 教育委員意見交換となっておりますが、何かありますか。

(なし)

大部 菌職務代理人 8. 次回開催予定が10月28日ですね。

午後3時からということですので、よろしくお願ひします。

ほかになければこれで閉会してよろしいでしょうか。(はい)

それでは、閉会を宣言いたします。

平成27年第11回小林市教育委員会定例会については、全て終了いたしました。本日はこれにて閉会いたします。お疲れさまでした。

閉会 17:20

委員長

委員長職務代理者

委員

委員

教育長

調整職員
